



千年さんごちゃん通信

千年サンゴと生きるまちづくり協議会 令和3年3月発行

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、シュノーケリング体験やイベントでのPRなどは中止せざるを得ませんでした。オニヒトデやサンゴ食害生物の駆除を行う保全活動や環境調査を、ボランティアダイバーの皆さんの御協力を得ながら、概ね計画どおりに行うことができました。

令和3年度も、引き続き「保全」をキーワードに、千年サンゴを次世代にバトンタッチできるよう事業実施にしっかりと取り組んでいきますので、皆様方のサポートをお願いいたします。

令和2年度の保全活動

もぐりんサンゴの会の皆さんら延べ約40人の御協力を得て、7月と11月に保全活動を行い、オニヒトデ4匹・サンゴ食害巻貝を約530個を駆除したほか、環境調査を四国海と生き物研究室の御支援を受け10月に実施しました。



令和3年度の主な計画

オニヒトデなどの駆除を行う保全活動と、環境調査活動を継続的に実施するとともに、各種啓発イベントにブース出展の上、千年サンゴのPR活動に取り組んでいきます。また、新たにオンラインを活用したコンテンツ（千年サンゴクイズなど）の提供やSNSの発信に積極的に取り組んでいく予定です。



- ①オニヒトデ等の駆除のための保全活動（年2回）
- ②千年サンゴ周辺の環境調査活動（年2回）
- ③シュノーケリング体験教室&ビーチコーミング（7～8月頃）
- ④各種イベントへのPRブース出展（年2～3回）
- ⑤オンラインコンテンツの提供

千年サンゴのサポーターも引き続き募集します！
よろしくお願ひします。



千年サンゴと生きるまちづくり協議会は (公社) 日本ユネスコ連盟協会プロジェクト・未来遺産登録団体です。

登録プロジェクト名	次世代につなごう!! 「千年サンゴ」 保全プロジェクト
登録日	平成 27 年 12 月 7 日
選考理由	千年サンゴというシンボルを持ち、徳島県、牟岐町、観光協会、商工会、漁業協同組合、NPO などが強力な連携を保って、サンゴの保全とまちづくりを目指して活動するという高いメッセージ性およびモデル性を有している。人材育成が着実に行われていることを鑑みると、その持続可能性も高く、活動の成果がプロジェクト未来遺産登録によって、さらに現実的なものになることが期待される。

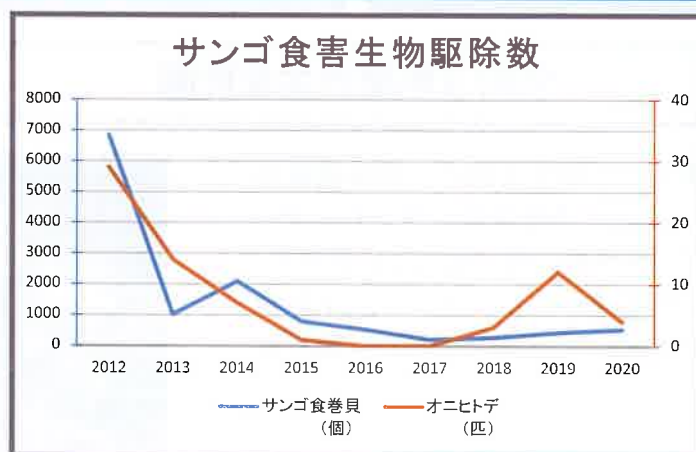
毎年 12 月 7 日は、「千年サンゴの日」です。

(公社) 日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に登録された平成 27 年 12 月 7 日を記念し、牟岐町では、毎年 12 月 7 日を「千年サンゴの日」に制定しています。

(平成 28 年 1 月 12 日 牟岐町告示第 1 号)

牟岐大島の内湾にあるコブハマサンゴは千年サンゴと愛称で町民に親しまれ、保護活動も続けられてる。牟岐町の豊かな自然を象徴する生物であり、後生に町の宝として継承していくため、牟岐町により「千年サンゴの日」を次のとおり制定する。

千年サンゴの日 毎年 12 月 7 日



詳しくは、協議会 HP <https://sennensango.com> をご覧ください。

千年サンゴと生きるまちづくり協議会 (事務局)
徳島県南部総合県民局保健福祉環境部 (環境担当内)
徳島県阿南市領家町野神 319
電話 0884-28-9858

